

| 通番 | 意見者 | 該当箇所 | 意見 | 対応 | 素案たたき台 |
|----|----------------|--|---|----|--|
| 1 | 事務局 (法人の動向) | 前文 | 法人化後の状況、第1期中期目標の達成状況を文章に反映させる | 反映 | 資料5のとおり（感染症にかかる記述、第1期中期目標の達成状況について追記） |
| 2 | 事務局 (県の動向) | 前文 | <ul style="list-style-type: none"> ・人口減少社会の到来 ・少子化の進行、高齢化の加速 ・国際化や情報化の進展 | 反映 | <u>一方で、少子高齢化、グローバル化及び情報化が急速に進む中…</u> |
| 3 | 事務局 | 第1 中期目標の期間 | 令和6年度～令和11年度とする。 | 反映 | <u>令和6年</u> 4月1日から <u>令和12年</u> 3月31日までの6年間とする。 |
| 4 | 法人 | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (1) 人材の育成 | イノベーションを担うマインドをもつ人材の育成を重視し、文章の追加希望 | 反映 | 保健、医療及び福祉の各領域に関わる幅広い知識と専門的な技術に基づき、豊かな人間性を兼ね備えたヒューマンサービスを実践できる人材及び地域や国際社会において活躍できる人材の育成、 <u>その他、保健、医療及び福祉の分野においてヒューマンサービスの基本理念を基軸にイノベーションを担うマインドを持って、社会的課題の解決に向けて積極的に向き合おうとする人材の育成</u> 、現任者への継続教育及び大学の知的資源の積極的開放を通して、県民と地域社会の保健、医療及び福祉の向上に寄与する。 |
| 5 | 法人 | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (1) 人材の育成 ア 学部教育 | 保健、医療及び福祉の連携と総合化を実現できる能力を有する人材の育成を重視し、修正希望 | 反映 | 保健、医療及び福祉の分野における高度で専門的な知識及び技術を教授研究するとともに、保健、医療及び福祉の <u>分野に関する連携と総合的な化を実現できる</u> 能力を有する人材を育成する。 |

| 通番 | 意見者 | 該当箇所 | 意見 | 対応 | 素案たたき台 |
|----|--------------------------|--|------------------|----|--|
| 6 | 法人 事務局 (法人の動向) | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (1) 人材の育成 イ 大学院教育 (イ) ヘルスイノベーション研究科 | 博士課程開設等に伴い修正を希望 | 反映 | <p>保健、医療及び福祉に関わる広い知識を持ち、技術や社会システムの革新（イノベーション）を起こすことにより、ヘルスケア・ニューフロンティア構想の推進を担う高度な専門人材を育成する。</p> <p><u>超高齢社会を支える新しい健康観「未病」を踏まえて、社会システムや技術の革新（イノベーション）を起こすことができる人材を育成する。</u></p> <p>【修士課程】</p> <p><u>公衆衛生学を基盤とし、イノベーションの創出に取り組み、先端技術やデータサイエンス、アドミニストレーションなど、幅広い知識や能力を持ち、多様なステークホルダーと協働できる専門人材を育成する。</u></p> <p>【博士課程】</p> <p><u>公衆衛生の視点による科学的根拠に基づいたアプローチによって社会変革に意を尽くし、国際社会の将来をけん引することができる国際的・高度専門人材を育成する。</u></p> |
| 7 | 評価委員会 (見込評価) | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (1) 人材の育成 ウ 実践教育センター | 現任者教育／リカレント教育の充実 | 反映 | <p>（「実践教育センター」ではなく「現任者教育」に変更する。）</p> <p>ウ 実践教育センター <u>現任者教育</u></p> |

| 通番 | 意見者 | 該当箇所 | 意見 | 対応 | 素案たたき台 |
|----|---------------------|--|--|----|---|
| 8 | 法人 | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (1) 人材の育成 ウ 実践教育センター | 現任者教育のあり方を検討し推進していくことを重視し、文章の追加を希望 「また、保健、医療及び福祉を取り巻く急激な社会環境の変化に適應するために必要とされるスキルの獲得を目指す新たなニーズに対応できる現任者教育のあり方を検討し、推進する。」 | 反映 | 保健、医療及び福祉の分野に従事する者の継続教育並びに同分野に関する研究を実施し、時代の要請に応じたキャリア支援を行う。 <u>また、主に実践教育センターにおいて、急激な社会環境の変化に適應するために必要なスキルを身につけ、新たなニーズに対応できる現任者教育のあり方を検討し、推進する。</u> <法人意見を修正した理由> ・主に実践教育センターが現任者教育を担うことを明記 ・前文とのつながりにも配慮し文章を簡素化 |
| 9 | 法人 | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (2) 教育内容等 ア 教育内容及び方法 | DXにかかる文章の追加を希望 | 反映 | 保健、医療及び福祉分野に係る社会からの要請、学生からの要望、学術の発展動向などに的確に対応するため、教育内容の継続的な改善を図る。 また、学生が授業内容を深く理解し、知識や技術を確実に習得できるよう、効果的な授業形態を設定するとともに、教育方法の継続的な工夫に努める。 <u>どのような状況下でも教育の質が確保できるように、教育DXの導入を推進する。</u> |
| 10 | 法人 事務局 (県の動向) | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 1 教育に関する目標 (3) 教育の実施体制の整備 イ 教育環境の整備 | 感染症等の社会情勢を鑑み、デジタル技術の活用が重要であることから文章の追加を希望 | 反映 | 学生の学習意欲や教育効果を高めるため、 <u>デジタル技術の活用促進を図るとともに、</u> 大学の施設や教育備品等の計画的な整備と適切な維持管理により、教育環境の向上を図る。 |

| 通番 | 意見者 | 該当箇所 | 意見 | 対応 | 素案たたき台 |
|----|--|---|--|------|---|
| 11 | <p>法人</p> <p>事務局 (県の動向) (国の動向)</p> | <p>第2 教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>1 教育に関する目標</p> <p>(4) 学生の受入れ</p> | <p>ヘルスイノベーション研究科において世界に通用する人材を輩出するためには国際的な学生の受入が重要となることから、文章の追加を希望</p> <p>「さらに、グローバル人材の育成・活躍推進を図る。」</p> <p>県内看護系大学の開設・18歳人口の減少にかかる対応について追加</p> | 反映 | <p>入学者受入れ方針や大学が求める学生像や教育理念、教育目標等に沿った適切な入学者選抜及び選考を実施する。</p> <p>また、<u>18歳人口が減少する中で、大学の魅力や特色を効果的に発信するほか、社会ニーズの変化や時代の要請を的確にとらえ、社会人やグローバル人材も含めた入学者の受入れについて適宜検討する。</u></p> <p><法人意見を修正した理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県内看護系大学の開設や少子化への対応を追記 ・ 前文とのつながりに配慮し改変 |
| 12 | 法人 | <p>第2 教育研究等の質の向上に関する目標</p> <p>2 学生への支援に関する目標</p> <p>(1) 学生生活に係る支援</p> | <p>世界に通用する人材を輩出するためには国際的な学習環境が重要となることから、文章の追加を希望</p> <p>「また、国際的な学生交流の推進に努める。」</p> | 一部反映 | <p>学生が充実した大学生活を送ることができるよう、学習支援や健康及び生活に関する支援を行うなど、学生への支援体制を整備し、充実させる。</p> <p><u>また、国際的な学生交流の推進に努め、国際社会において活躍できる人材の育成を図る。</u></p> <p><法人意見を修正した理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学生交流によりめざすものを追記 |

| 通番 | 意見者 | 該当箇所 | 意見 | 対応 | 素案たたき台 |
|----|---------------------|---|--|------|---|
| 13 | 法人 | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 2 学生への支援に関する目標 (2) キャリア支援 | ヘルスイノベーション研究科のキャリアプランの記載がないため、文章の追加を希望 「さらに、イノベーションを起こす人材の輩出に向け、起業をはじめとする学生のチャレンジを支援する取組を実施する。」 | 一部反映 | 高い就職率及び国家試験の合格率を維持するため、進路情報の提供や研修等を行い、学生への充実した支援体制を整備する。 また、大学における県内の保健、医療及び福祉に係る就職者を確保するための取組を実施する。 <u>さらに、イノベーションを起こす人材の輩出に向け、起業等を支援する取組を実施する。</u> <法人意見を修正した理由> ・「チャレンジ」という文言が曖昧であるため、 <u>起業支援を指すことが分かるよう改変</u> |
| 14 | 法人 事務局 (県の動向) | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 3 研究に関する目標 (1) 研究水準及び研究の成果等 | 社会情勢に鑑み、大学の知見を活かした感染症対策及びその社会実装が重要であること、研究水準をより積極的に向上させていく必要があることから、文章の修正・追加を希望 | 反映 | 県民の健康と生活の向上や地域社会の活性化のため、保健、医療及び福祉の分野において実践的な研究を行い、その成果を有効に活用する。 また、県と連携し、 <u>大学の知見・資源を生かした</u> 未病の改善による健康寿命の延伸 <u>や感染症</u> 等の研究に取り組み、 <u>政策立案に活かすとともに、社会実装を推進し、</u> 県民の保健福祉の向上に寄与する。 <u>併せて、研究水準の向上に向け、個々の教員が競争的外部資金の獲得に積極的に取り組む。</u> |
| 15 | 評価委員会 (見込評価) | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 3 研究に関する目標 (2) 研究の実施体制等の整備 | 研究にかかる質の評価の実施 | 反映済み | (原文のまま変更しない) 保健、医療及び福祉の分野において質の高い研究を行うため、研究活動を推進する体制を整備するとともに、研究活動の適正な評価を行い、その評価結果を活用することで研究の質の向上に努める。 |

| 通番 | 意見者 | 該当箇所 | 意見 | 対応 | 素案たたき台 |
|----|-----------------|--|--|-------|---|
| 16 | 評価委員会 (見込評価) | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 3 研究に関する目標 (2) 研究の実施体制等の整備 | 科研費申請数の目標設定の見直し | 反映しない | (中期計画または年度計画にて対応することとする) |
| 17 | 事務局 (国の動向) | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 4 社会貢献に関する目標 (1) 地域貢献 | (県の動向) ・ 地域や家庭のあり方の変化 (国の動向) ・ 地域社会の活力の低下 ・ 多極分散型国家形成の必要性 | 反映済み | (原文のまま変更しない) 急速な少子高齢社会を迎えているなか、大学が有する人的資源及び教育研究成果を活用して、地域包括ケアシステムの構築など地域が抱える課題に対する支援や、地域との連携及び協働を推進する。 また、県が設置する大学として、県に対しその知見や成果を提供するとともに、地域における「知の拠点」として保健、医療及び福祉の向上及び地域の活性化に取り組む。 |
| 18 | 法人 | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 4 社会貢献に関する目標 (2) 産学官の連携 | 社会情勢を鑑み大学の知見を積極的に提言していくことが重要であることから、文章の追加を希望 「また、研究を通じた政策提言などにより、社会システム・イノベーションの創出に積極的に貢献する。」 | 反映 | 大学の持つ保健、医療及び福祉に係る特性を活かし、企業や行政機関等との研究協力を推進し、地域経済の活性化及び産業の発展に寄与する。 <u>また、研究を通じた政策提言などにより、社会システムにおけるイノベーションの創出に積極的に貢献する。</u> <法人意見を修正した理由> ・ 「社会システム・イノベーション」という文言がわかりにくいため「社会システムにおけるイノベーション」に変更 |

| 通番 | 意見者 | 該当箇所 | 意見 | 対応 | 素案たたき台 |
|----|-----------------|---|--|-------|--|
| 19 | 法人 | 第2 教育研究等の質の向上に関する目標 4 社会貢献に関する目標 (3) 国際協働 | 教員による国際交流について、文章の追加を希望 「また、教員の国際交流の推進に努める。」 | 反映 | 国内における保健、医療及び福祉に係る教育研究の活性化と国際社会において活躍できる人材を育成するため、海外の教育研究機関と連携し、多様な教育研究活動を推進する <u>ほか、教員の国際交流の推進に努める。</u> <法人意見を修正した理由> ・前文とのつながりに配慮し改変 |
| 20 | 法人 | 第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標 3 事務等の効率化・合理化に関する目標 | 社会情勢を鑑み、事務手続きのデジタル化の推進について文章の追加を希望 「また、社会情勢を鑑み、事務手続きのデジタル化を推進する。」 | 一部反映 | 教育研究に対するサポート機能の向上と法人・大学運営の効率化を図るため、事務組織の見直しなど、効果的な事務運営に努める。 <u>また、社会情勢を鑑み、事務手続きのデジタル化を推進し、学生をはじめとする利用者の利便性向上、職員の負担軽減及び生産性向上を実現することで、効率的な法人運営を目指す。</u> <法人意見を修正した理由> ・デジタル化によりめざすものを追記 |
| 21 | 評価委員会 (見込評価) | なし | 社会福祉学科におけるきめ細やかな指導の継続 | 反映しない | (各学科の目標については、中期計画または年度計画にて対応する) |
| 22 | 事務局 | 全般 | 「受入」→「受入れ」に統一 | 反映 | 各所 |
| 23 | 事務局 | 全般 | 「大学運営」→内容により「法人運営」に変更 | 反映 | 各所 |